

# あしきた

# 11月号



## 平生雷狂言保存会

11月17日(日)

第55回九州民俗芸能大会（鹿児島県奄美市）に  
熊本県代表として出場

◎もくじ (2013年11月号)

- |                    |                      |                       |
|--------------------|----------------------|-----------------------|
| 2 芦北町文化祭           | 11 国際交流まつり / チョアチョア記 | 18 犬や猫はきちんと飼いましょう     |
| 4 芦北町職員の給与と定員管理    | 12 町民体育祭陸上競技大会       | 19 文化財 / お知らせ         |
| 6 保育所入所案内 / 家屋全棟調査 | 14 あしきた障がい福祉フォーラム    | 20 お知らせ               |
| / 水俣・芦北地域振興財団助成募集  | / 水俣条約外交会議おもてなし      | 22 芦北警察署 / 芦北消防署      |
| 7 まちのわたい           | 15 全国豊かな海づくり大会       | 23 佐敷城コンテスト / 出生・おくやみ |
| 10 城山配水池落成         | 16 芦北町の子育て支援         | 24 ジビエ料理 / 星野富弘美術館だより |
| / 屋内消火栓操法大会        |                      |                       |

# 芦北町文化祭

しるやますカイドームで11月2日から4日にかけて行われた芦北町文化祭。田浦祝い唄保存会の「祝いめでた」、芦北町吹奏楽団の合奏によるオープニングセレモニーで幕を開けました。初日は、文化協会加盟団体による発表会があり、大正琴の演奏や歌謡、舞踊などの各団体が、日頃の練習の成果を発表しました。また、新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーを中心とした金管楽器の名手による金管五重奏演奏会もあり約400人の観衆を魅了しました。



書、絵画、写真、竹細工など多くの作品が展示された会場



芦北町吹奏楽団の演奏



大正琴愛好会の演奏

2 日目にあった青少年発表会では、小・中・高校生と今年JAあしきたに就職した新人職員の8人が「未来の芦北町」などのテーマで自らの主張を発表しました。子ども講座英会話教室や宮崎子ども会による舞踊発表、子どもお茶教室などもあり、保護者や関係者が子どもたちの成長に目を細めていました。その後行われた郷土芸能発表は、地域の郷土芸能の保存と伝承に取り組みむ市野瀬棒踊り、才雷狂言、田浦古代俵踊り、宮の後臼太鼓踊りの4団体が出演し活動の成果を発表しました。

文化講演会では、作家の五木寛之さんが「こころの風景」と題して講演しました。五木さんは「人間はプラス思考とマイナス思考両方なければいけない。」と話し、自殺者が年間3万人を越える日本の現状に触れ「明るいこと楽しいことだけを求めてきたつけがきているのではないかと指摘しました。「人間にとつて鬱な気持ちになることは自然なこと。鬱を感じる時、ため息をつくとき私たちの心はしなっている。しならない強い枝、固い枝は雪の重さに耐えられなくなるとときに折れてしまう」と、雪の重みに耐える枝に例えて、しなやかに動く人間の心について話しました。最後に「私たちはため息をつきながら揺れ動きながら一日一日を生きてくことになるんです。今日は皆さんもため息をつきながらお帰りになってください」と、笑いを誘いながら町内外から訪れた約900人の聴衆に語りかけました。



講演する作家の五木寛之さん

3 日目には、郷土芸能研修会があり、初めに太鼓の演奏で会場を沸かせました。その後、芦北町の郷土芸能の代表として、平生雷狂言保存会が出演し、狂言演者のひょうきんな動きで会場を笑わせました。多良木町からゲストとして迎えた上槻木太鼓踊りは、芦北町内に見られる勇壮な太鼓踊りと違い、背中に「からいもん」と呼ばれる矢旗を背負ってゆるやかに動く太鼓踊りです。地形的に交流のあった宮崎県側から伝わったといわれています。太鼓踊り保存会に所属し、自らも郷土芸能の伝承に努めている多良木町の松本照彦町長は、「伝統の重さ、良さを後世に伝えていきたい」と話しました。



会場には町内外から多くの来場者が詰めかけました

この日は、佐敷城跡フォトコンテストなどの表彰もあり、入賞者に賞状などが贈られました。(優秀作品は23ページに掲載しています。) 芦北町健康づくり推進条例施行記念事業として2日、3日の両日、文化祭会場入り口に設置された健康ブースでは、血圧や骨密度などの測定、減塩食の試食、健康づくり推進の川柳や絵画なども展示され、多くの人が感心を寄せ、簡易な健康チェックを受けていました。



青少年の主張発表



田浦古代俵踊り



田浦保育所児童の踊り「ねずみ花火」



健康ブースで健康チェック



子ども茶道教室



市野瀬棒踊り



芦北保育園の将友太鼓



松本照彦多良木町長(写真左)も熱演した上槻木太鼓踊り

(5) 退職手当

支給率	自己都合	勸奨・定年
勤続 20 年	23.03 月分	28.7875 月分
勤続 25 年	32.83 月分	38.955 月分
勤続 35 年	46.55 月分	55.86 月分
最高限度額	55.86 月分	55.86 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特別措置 (2%～20%)	

(6) その他の手当

手当名	内容および支給単価
扶養手当	配偶者 13,000 円 その他の扶養親族 6,500 円
住居手当	借家の場合 家賃に応じて 27,000 円を限度に支給
通勤手当	自動車の場合 距離に応じて 2,000 円～24,500 円 J R などの場合 運賃に応じて 55,000 円まで支給
管理職手当	41,600 円～62,300 円
特殊勤務手当	税務手当 1,000 円～1,500 円/月 感染症防疫作業手当 290 円/日 行旅死亡人取扱従事手当 300 円/回

# 芦北町職員の給与と定員管理

職員の給与の実態と定員管理について町民の皆さんの理解を深めてもらうために、その主な内容をお知らせします。  
\*お問い合わせ先  
総務課 総務係 ☎(82) 2511 (内線214)

## 職員の任免および職員数に関する状況

(1) 職員数に関する状況 (教育長含む)

H24.4.1	退職	採用	H25.4.1
239 人	6 人	5 人	238 人

(2) 部門別職員数の状況 (教育長含む)

部門	区分	職員数	
		平成 24 年度	平成 25 年度
一般行政部門	議 会	3 人	3 人
	総 務	66 人	67 人
	税 務	14 人	15 人
	民 生	32 人	31 人
	衛 生	17 人	16 人
	農林水産	25 人	25 人
	商 工 土 木	9 人 21 人	9 人 20 人
	小 計	187 人	186 人
教育部門		28 人	28 人
公営企業等	水 道	7 人	7 人
	下 水 道	2 人	2 人
	そ の 他	15 人	15 人
	小 計	24 人	24 人
合 計		239 人	238 人

(3) 一般行政職の級別職員数等の状況

区分	1 級	2 級	3 級
標準的な職務内容	主事 技師	主事 技師	参事
職員数	27 人	32 人	40 人
区分	4 級	5 級	6 級
標準的な職務内容	係長	課長補佐 主幹	課長 審議員
職員数	44 人	22 人	16 人

## 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

勤務時間	休憩時間	週休日
午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分	正午～午後 1 時	土曜日、日曜日

## 職員の分限および懲戒処分の状況 (平成 24 年度)

(1) 分限処分

降任	免職	休職	降給	計
0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

(2) 懲戒処分

戒告	減給	停職	免職	計
0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

## 職員の服務の状況

職員は全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、全力を挙げて職務に専念しなければいけません。職務の遂行に当たって職員が守るべき義務は、次のとおりです。

- ①法令等および上司の職務上の命令に従う義務
- ②信用失墜行為の禁止
- ③秘密を守る義務
- ④職務に専念する義務
- ⑤政治的行為の制限
- ⑥争議行為等の禁止
- ⑦営利企業等の従事制限

## 職員の研修および勤務成績の評定の状況 (平成 24 年度)

初任者研修、入庁 3 年目未満研修、総務省自治大学校研修、県派遣による研修および接遇研修などを実施し、職員の職務遂行能力の向上を図りました。

職員の人材育成を目的として、管理職の適切な指導および助言による人事評価を行いました。

## 職員の福祉および利益の保護の状況

(1) 職員の福祉制度

健康保険	熊本県市町村職員共済組合
健康診断	定期健康診断 (人間ドック受診者を除く全職員)
	人間ドック受診

(2) 利益の保護の状況 (平成 24 年度)

不利益処分に関する不服申立て	0 件
勤務条件に関する措置の要求	0 件

## 職員の給与に関する状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況

区分	一般行政職	技能労務職
平均年齢	41.7 歳	45.4 歳
平均給料月額	297,400 円	249,700 円
平均給与月額	329,900 円	283,600 円

(2) 職員の初任給の状況

区分	初任給	
一般行政職	大学卒	172,200 円
	高校卒	140,100 円
技能労務職	大学卒	—
	高校卒	137,200 円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成 25 年 4 月 1 日現在における職種ごとの職員の基本給の平均です。  
2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

区分	経験年数 10 年	経験年数 15 年	経験年数 20 年	
一般行政職	大学卒	251,300 円	299,600 円	341,300 円
	高校卒	218,900 円	250,300 円	316,300 円
技能労務職	高校卒	—	—	240,000 円
	中学卒	—	—	—

(4) 期末手当・勤勉手当

区分	期末手当	勤勉手当
6 月期	1.225 月	0.675 月
12 月期	1.375 月	0.675 月
計	2.60 月	1.35 月
職務階級加算	役職加算	5%～15%

## 楽しく元気にみんなですぽーツ

芦北町福祉スポーツ大会が10月3日、しろやまスカイドームで行われました。町内の福祉施設入所者や身体障害者福祉連合会の会員、吉尾保育園の園児など約450人が参加しました。参加者は大玉ころがしやパン食い競走などに出場したり、仮装行列で海賊や雷様などさまざまな格好に仮装したりして、参加者もボランティアの人も元気に楽しんでいました。



多くの笑いを誘った仮装行列



防犯パトロールに出発する車両を見送るくまモンと出席者

## 車の鍵かけと自転車ロックの徹底を

10月11日から20日まで全国地域安全運動が実施され、それに先立つ10月10日、佐敷駅前で行われました。式には、各地域の防犯パトロール隊など約60人が出席し、木庭芦北警察署長が「犯罪を未然に防ぐため、その気にさせないように、鍵かけを徹底しましょう」と話しました。アトラクションにはくまモンと芦北保育園の園児が登場し、元気にくまモン体操を披露しました。

## 海難事故から命を守るために

芦北漁協と津奈木漁協の組合員を対象に10月12日、漁船海難防止強調運動の一環として海難防止講習会が開催されました。今年9月にあった漁船からの転落事故を受け、初めて海に入ってからの実演講習となりました。八代海上保安署員と漁協の組合員の1人が芦北漁協前の海に入り、救命胴衣の有効性を確認したり、海に落ちたときの対処法などを学びました。講習に参加した組合員は「救命胴衣の大切さがよくわかった。自分の命を守るため、これからは着用したい」と話していました。



海に入って救助法や救命胴衣の有効性を確認しました

## 十三夜の月の下に歓声響く

田浦の宮浦地区で毎年恒例となっている十三夜祭・芸能大会が10月19日、宮浦ふれあいセンターで行われました。十三夜の月の下でが稲わらで作られた手作りの綱で子どもたちが綱引きをしたり、輪投げなどのゲームをしたりし、大人たちはカラオケなどの芸能大会で盛りあがっていました。



十三夜の綱引きをする子どもたち

## 平成26年度 保育所入所案内

平成26年度保育所入所申し込みを受け付けます。申込期間内に必要書類を提出してください。

◆受付期間 11月18日(月)

～11月29日(金)

◆提出先 福祉課、田浦基幹支所、各保育所

◆提出書類

①入所申込書

②保育ができないことを証明する書類(就労証明書、医師の診断書、母子手帳、障害者手帳、在学証明書など)

③住民税閲覧承諾書

④平成25年分源泉徴収票または確定申告書の写し

※④については、書類ができ次第速やかに提出してください。

◆その他

○入所申込書、就労証明書様式、住民税閲覧承諾書は福祉課、田浦基幹支所または各保育所にあります。  
○現在、入所中の児童についても、申し込みが必要となります。  
○町外の保育所に入所を希望する場合も芦北町に申し込みが必要です。

保育所名	定員(人)	保育年齢
大野保育所	45	生後6カ月から就学前まで
田浦保育所	120	"
湯浦保育所	150	"
淳光育児園	90	生後3カ月から就学前まで
芦北保育園	80	"
吉尾保育園	20	"
計石保育園	45	"

■公立保育所(大野・田浦・湯浦)は、平成27年4月から民営化を予定しています。  
■移管先の法人は決定後にお知らせします。

\*問い合わせ先  
福祉課 児童家庭福祉係  
☎(82)2511(内線151)

## 家屋全棟調査を実施中です

●家屋全棟調査とは?

町内にある全ての家屋を調査し、家屋課税台帳に登録してある事項(所在・種類・構造・床面積など)と比較し、増改築や未調査による課税漏れ、または、取り壊しなどがないかを確認するものです。

▼調査期間 平成25年度から平成26年度にかけて全町を調査する予定です。

▼調査方法(外観調査)

・調査員は身分証を携帯し、腕章を着用しています。

・町から委託を受けた調査員が家屋の課税台帳や図面と実際の家屋を照らし合わせて外観確認します。

・原則として公道からの外観目視で調査しますが、確認のため敷地内に入ったたり所有者をお尋ねしたりすることもありますのでご協力をお願いします。

※課税されていない家屋が確認されたときは、町の職員が後日あらためて調査に伺う場合もあります。

\*問い合わせ先

税務課 固定資産税係

☎(82)2511

(内線124・125)

## 水保・芦北地域振興財団 助成事業募集

●地域振興事業

町内で活動し、芦北町の地域産業の振興や地域住民などの自主的な地域づくり活動を支援する取組を考えている団体で一定の条件を満たすとその事業の費用の一部を助成します。

▼対象事業 ①地場特産品などを活用した新製品の開発②物産・観光フェア③人材育成、地域間交流など

▼申請期限 12月17日(火)

●環境技術研究開発事業

株式会社やその他の法人、または、当該地域との連携が可能な大学、短期大学、高等専門学校が、環境配慮型の研究開発を行う場合に一定の条件を満たすと、その事業の費用の全部または一部を助成します。

▼対象事業 ①省エネ、低公害性、廃棄物のリサイクルなどに関する研究や開発②エコフェアや環境シンポジウムの開催など

▼申請期限 12月17日(火)

\*申込・問い合わせ先

企画財政課 まちづくり推進係

☎(82)2511(内線252)

## 日常の中にも防災意識を

平成 24・25 年度の防災教育研究推進校に指定されている田浦小で、集大成となる研究発表会が 10 月 30 日に行われました。県内の小中学校などから約 200 人の教職員が参加し、防災教育の視点を取り入れた教育活動を見学しました。児童たちは、「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、災害に備えるための知識と判断力を養われたようでした。



昭和 57 年にあった田浦の水害について発表する児童

## 心地よい秋の夜にほのかな光

薩摩街道佐敷宿交流館「榎屋」で「やさしきまちの灯りアート展」が 10 月 19 日に行われました。当日は大小 300 個以上の灯籠などがほのかに会場を照らしていました。会場ではバンド演奏などがあり、訪れた人たちは心地よい秋の夜を楽しんでいました。

またこの日、漫画家・村枝賢一さんの作品を集めた「村枝賢一マンガ図書館」のお披露目もありました。村枝さんが自身の全作品約 100 冊を寄贈したもので、誰でも無料で読むことができます。



子どもたちが作った灯籠（中央付近）も並んだ灯りアート展



上棟式・餅投げが行われた湯浦温泉センター

## 湯浦温泉センターが上棟

改築中の湯浦温泉センターの上棟式が 10 月 30 日、竹崎町長や町議会議員、工事関係者などが出席して行われました。式後にあった餅投げには、湯浦地区の住民ら約 60 人が駆け付け、温泉センターの屋根から投げ下ろされた餅を歓声をあげながら拾っていました。

湯浦温泉センターは建物の老朽化に伴う改築工事が 7 月から行われていて、来年 3 月の完成を予定しています。



スピードを落とさずにカーブを曲がる女性参加者

## 0.1 秒でも速く — 斜面を疾走

第 14 回芦北ローラーリージュ大会が 10 月 20 日、芦北海浜総合公園で行われました。小学生から一般男女までの 5 部門に県内外から 70 人が参加しました。参加者は 1 秒にも満たないタイム差を競い合っていました。

【町内関係者の上位成績】（敬称略）

- ▶小学生低学年 優勝 米良陽希（計石西）
- ▶中学・高校 2位 田村嵐（花岡西）
- 3位 北原宏人（花岡西）
- ▶団体戦 3位 2 F 魂（芦北高校林業科）

## 金管楽器の名手たちが学校訪問

芦北町文化祭で公演した金管五重奏の演奏家 5 人が、文化祭に先立つ 10 月 31 日から 11 月 1 日にかけて町内の中学校を訪問し、生徒たちの前で演奏しました。これは、演奏家派遣事業として町教育委員会が毎年町の演奏会に合わせて実施しているものです。田浦中では 5 人の奏者がクラシックやジャズ、日本の音楽など多様なジャンルの曲を披露したほか、金管楽器の特徴や音色を笑いを含めながら説明していました。最後は、金管楽器で奏でる田浦中学校歌に合わせ生徒たちは大きな声で歌っていました。



田浦中学校歌の演奏に合わせて合唱する生徒

## 庭園に響く優雅な音色

赤松館設立 120 周年を記念したコンサートが 10 月 22 日、赤松館の庭園で行われました。コンサートは、NHK 交響楽団第 1 コンサートマスターの篠崎史紀さんとハープ奏者の津野田圭さんを招いて行われ、バイオリンとハープの響きに、庭園でさえずる鳥の鳴き声や風の音が一体となり、訪れた観客を優雅な世界に引き込んでいました。

津野田さんは、赤松館を建設した 5 代目当主藤崎彌一郎氏の玄孫にあたり、赤松館でコンサートを行うのは 2 年ぶり 2 度目となります。



バイオリンとハープを奏でる篠崎史紀さんと津野田圭さん



道崎スギエさん（写真中央）と親族ら関係者の皆さん

## 祝 100 歳 道崎スギエさん

道崎スギエさん（老人ホーム）が 11 月 1 日に 100 歳の誕生日を迎えました。この日、入所している養護老人ホーム有隣で親族や入所者、職員の皆さんに祝われ、竹崎町長が長寿慶祝金を手渡しました。

道崎さんは、「食べ物の好き嫌いはありません。なんでも食べます。いつも（談話室で入所者と）しゃべります」と元気に話してくれました。現在も、日常生活は自分 1 人で何でもこなし、寝るとき以外は、談話室などで過ごしているそうです。



あしきた太秋柿を収穫する保育園児

## 保育園児も収穫の秋を満喫

芦北保育園と計石保育園の園児 29 人が 10 月 29 日、湯浦の米田区にある元村深雪さん（湯浦北）所有の果樹園で、あしきた太秋柿の収穫体験をしました。園児の顔ほどもある大きな柿を収穫し、園児たちは収穫の秋を楽しんでいました。

園主の元村さんは「子どもたちに喜んでもらえることが一番うれしい。この日のために、一生懸命手入れしました」と話していました。

# 災害にも強い近代的配水池が落成



▲落成を祝いテープカットする出席者

▼完成した配水池の全景



佐敷、湯浦地区に水道水を供給する城山配水池の落成式が10月30日、現地で行われました。式には関係者約50人が出席し、テープカットや配水池の水で乾杯し落成を祝いました。この配水池は佐敷城跡の横に立つ配水池が老朽化したことに伴い、しろやまスカイドームの裏山に新たに整備したものです。新しい配水池はステンレス製の近代的な施設で、耐震性に優れ、震度7の地震にも耐えられる設計になっています。さらに配水管が被災した場合でも緊急遮断弁により水の流出を防ぎ、応急的に1週間分の水を確保しておくこと

施設の概要	
配水池	ステンレス製 容量 1,890m <sup>3</sup> (945m <sup>3</sup> × 2基)
総事業費	約5億9千万円
計画給水人口	10,200人
現在給水人口	9,365人
現在給水戸数	3,558戸
1日平均給水量	2,924m <sup>3</sup>
1人1日平均給水量	312ℓ

ができます。また、全国で初めてとなる洗浄管が張り巡らされた施設で、衛生面にも優れています。

# 屋内消火栓の操法技術を競う

水俣芦北地区屋内消火栓操法大会が10月16日、水俣芦北広域行政事務組合消防本部で開催されました。各事業所での屋内消火栓操作方法技術の向上と万一の際の自主消火活動に備えることを目的に行っており、今年で29回目を数える伝統ある大会です。大会には水俣芦北地域の事業所から男子の部に11チーム、女子の部に4チームが参加しました。競技は1チーム3人編成で行い、規律正しい動作と正しい用具の使い方、消火活

◀田の浦荘の選手による競技



東海カーボン(株)▶  
田ノ浦工場の選手による競技



- 動の迅速さを競いました。
- ◎大会結果
- 【男子の部】
- 優勝 JNC(株) 水俣製造所
  - 2位 (株) JNC
  - 3位 芦北町役場
- 【女子の部】
- 優勝 JNC(株) 水俣製造所
  - 2位 生活協同組合水光社
  - 3位 芦北町役場

男女ともに3位となった  
芦北町役場チーム▶



# 楽しく美味しく国際交流



▲甲冑を試着するAL Tのジェニファー先生

第12回芦北町国際交流まつりが10月20日、ファーマーズマーケットでこぼんで行われました。

今年は、司会に熊本もっこすタレントの村上めぐみさんを招き、恒例のグルメバザーには英語指導助手(AL T)や海外研修員のほか、町内在住のフィリピン、中国出身者なども参加して多くの国の料理が楽しめました。訪れた人たちも、どの料理を食べようかと迷っているようでした。大野小児童によるカンボジア募金米も販売され、午前中には完売しました。

ステージでは、八代白百合学園高校の吹奏楽部などが演奏し、多くの観客でにぎわいました。

世界の民族衣装試着ブースでは、韓国などの衣装のほか、甲冑の試着もでき、グルメバザーに参加した外国人も甲冑を着込んでご満悦の様子でした。



▲カンボジア募金米を販売する大野小児童とカンボジアからの留学生ら



▲八代白百合高校吹奏楽部の演奏

# 景さんの 芦北チヨアチヨア記

(第18回)

芦北町国際交流員  
李九景(イ・ユンギョン)

アンニョンハセヨ!  
10月に芦北町国際交流まつりがありましたが、私は3回目の参加となります。私は3回目の参加とありますが、今まで参加した中で一番にぎやかで盛り上がりしました。

今年も世界のグルメバザーが大盛況でした。いつも参加している町のAL Tや研修生以外に、町内に住んでいる中国・フィリピン出身の人も参加し、さらに国際色豊かな「まつり」になりました。今年の韓国グルメは、日本でもなじみのビビンバを作りました。ビビンバは、人参、ほうれん草、ぜんまい、豆もやしでそれぞれのナムル(あえ物)を作り、ひき肉と目玉焼き、そして取り寄せた本場のコチュジャンを入れたものです。100人分のナムルや目玉焼き作りは大変でしたが、ボランティアの人たちに手伝っていただき、本当に助かりました。そして、皆さんから「美味しい」と言ってもらい、完売することができました。

世界の民族衣装展では、韓服



▲美味しいビビンバができました

(ハンボック)の試着を行いました。今回は、みんな楽しんでいただきたいと思い、女性用、子ども用と男性用も用意しました。男性の服が祝い用のピンク色だったので、女性の服だと思って最初は抵抗があったようでしたが、試着をしてみると新しい経験になったという人もいらっしゃいました。

国際交流まつりに興味を持ってくれる人が毎年増えています。今回、手伝ってくださった関係者の皆さん、そして来場者の皆さん本当にありがとうございます。この国際交流まつりを通じて、たくさんの方と出会い、色んな文化を知り、そして体験し、国際交流に興味を持つきっかけとなつてほしいです。また来年、皆さんのご来場お待ちしております!



▲カンボジアのケオさんも顔を真っ白にして奮闘



▲位置について、よーい、ドン！！



▲町民リレーに大きな声援が飛び交います



▲町民リレーもクライマックス



陸上競技大会 優勝

田浦南部

田浦南部体育協会

田浦南部が1点差で栄冠

# 陸上競技大会 芦北町民体育祭



▲アダチ宣伝社のチンドン屋と平生雷狂言保存会



▲田浦北部の足並みのそろった入場行進



▲力が入った綱引き「がんばれ〜！」



▲参加者数も大幅に増えてにぎわいました



平成25年度町民体育祭  
総合優勝

佐敷東体育協会

総合は佐敷東が逆転優勝

## 総合成績 (最終)

順位	地域体協	総合得点
総合優勝	佐敷東	75
2位	佐敷西	74
3位	大東	71
4位	泉南	63
5位	田浦南部	60
6位	湯島	57
7位	田浦北部	57

※6、7位は種目別競技優勝回数による

## 陸上競技成績

順位	地域体協	得点
優勝	田浦南部	269
準優勝	佐敷西	268
3位	佐敷東	257.5
4位	田浦北部	251.5
5位	泉南	230.5
6位	湯島	200.5
7位	大東	194.5

大会では、得点が2倍となるこの大会で3位になった佐敷東が逆転で初代総合優勝となりました。総合成績で9月までの7位から5位に順位をあげた田浦南部は躍進賞も獲得しました。

総合では、得点が2倍となるこの大会で3位になった佐敷東が逆転で初代総合優勝となりました。総合成績で9月までの7位から5位に順位をあげた田浦南部は躍進賞も獲得しました。

午後からは綱引きなどの団体競技やリレー種目があり、各体協とも力を出し切って最後の男女別の町民リレーに臨みました。幼児、小学生、中学生、高校生、一般と走者がバトンをリレーしていくと観戦者も応援席から立ち上がって懸命に応援していました。

最終結果は、田浦南部が1点差で佐敷西を上回り、見事優勝しました。

総合では、得点が2倍となるこの大会で3位になった佐敷東が逆転で初代総合優勝となりました。総合成績で9月までの7位から5位に順位をあげた田浦南部は躍進賞も獲得しました。

午後からは綱引きなどの団体競技やリレー種目があり、各体協とも力を出し切って最後の男女別の町民リレーに臨みました。幼児、小学生、中学生、高校生、一般と走者がバトンをリレーしていくと観戦者も応援席から立ち上がって懸命に応援していました。

7地域体育協会になって初めての町民体育祭陸上競技大会が、10月13日、地域間交流スポーツグラウンドで行われました。

葦北鉄砲隊の号砲を合図に始まった入場行進は、田浦北部地域体協が足並みのそろった行進を見せ、入場行進優秀賞を受賞しました。

今大会では「なつかし！はずかし！」「騎馬戦」など6つの新種目が登場し、真剣勝負の中にも笑いが混ざり、多くの声援が飛び交っていました。

午前の部では年代別の100m走や1500m走、小中学生のリレーなどがあり、健脚を競いました。

午前の部が終わりと、昼食時間には、アトラクションとして福岡を中心に活躍中のアダチ宣伝社のチンドン屋と平生雷狂言保存会がグラウンドを周り、会場を和ませていました。平生雷狂言は、11月17日に奄美大島で行われる九州地区民俗芸能大会に熊本県代表として出場します。

# 誰もが住み慣れた地域で暮らせる社会を目指して

# 世界に向けて『おもてな・し』

障がいに対する理解を深め、障がい者が健常者とともに共生しつつ、住み慣れた地域の中で生活できる社

会を目指し、「あしきた障がい福祉フォーラム」が10月19日、地域活性化センターで行われました。講演会、パネルディスカッションのほか、福祉機器の展示や竹細工などの体験教室もあり、参加者は楽しみながら障がい者と交流していました。



▲〇〇に入る言葉は何でしょう



▲和気あいあいと風づくりを体験

基調講演では、八代市で障がい者支援や子育て支援を行っているNPO法人「とら太の会」の山下順子理事長が、会の活動を通じた地域共生について話しました。山下理事長は「大人も子どもも、障がいがある人もない人も、お互いの違いを認め、関わり合うことが大切」と会場に訪れた約400人に語りかけました。

パネルディスカッションは「あなたの〇〇で障がい者の生活が変わります」というテーマで、障がい者との関わりが深い3人のパネリストの視点から見た障がい者への関わり方を発表しました。

パネリストは〇〇に入る言葉をそれぞれ「声かけ」「心がけ」「目配り、気配り、心配り」と答えました。皆さんにとって〇〇に入る言葉は何でしょうか。

水銀による環境汚染や健康被害防止のため、水銀および水銀を利用した製品の製造と輸出入を規制する「水銀に関する水俣条約外交会議」が、10月9日から11日にかけて、水俣市・熊本市で開催されました。この会議には約140カ国から800人が参加して行われました。9日には、水俣市の現地視察と記念式典が



▲エコパーク水俣沖で帆をあげて参加者を歓迎するうたせ船

あり、エコパーク水俣沖には、うたせ船10隻が白い帆をあげて参加者を歓迎するとともに、昼食会場ではすり身の天ぷらを振る舞いました。これは「おもてなし事業」として女島開発委員会が実施したもので、芦北町観光協会、芦北漁協と連携してPRにつとめました。10日に熊本城であった歓迎レセプションでは、葦北鉄砲隊が祝砲を放つなど、町を代表する地域資源で世界各国の代表者らをもてなしました。



▲すり身の天ぷらを振る舞う女島開発委員会のメンバーら

# 天皇、皇后両陛下が海上歓迎・放流行事にご臨席



▲うたせ船などによる海上歓迎をご覧になる両陛下



▲海上から歓迎するうたせ船



▲おしぼりを両陛下に手渡す芦高生



▲両陛下をお見送りする沿道の人たち（水俣警察署付近）



▲ご介添えの大役を果たした芦高生の皆さん

## 第33回全国豊かな海づくり大会 ～くまもと～ 水俣会場

第33回全国豊かな海づくり大会「くまもと」が、10月26日、27日の両日、水俣市、熊本市、天草市の3会場で開催されました。27日には海上歓迎・放流行事にご臨席のため天皇、皇后両陛下が初めて水俣市をご訪問。水俣病慰霊碑への献花や語り部の会とのご懇談など、水俣病の苦しみに心を寄せられました。

海上歓迎行事では、帆をあげた2隻のうたせ船がエコパーク水俣沖に浮かぶ中、海上パレードに楠山政徳さん（計石東）のうたせ船が参加。会場アナウンスで「全国的にも珍しい伝統漁法です」と紹介されました。

その後行われた放流行事では、両陛下がヒラメとカサゴの稚魚を放流台から放流されました。このとき両陛下や来賓の放流の補助には、芦北高校、水俣高校、水俣工業高校の生徒があたりました。放流後、おしぼりを天皇陛下に手渡すときにお声をかけられた芦北高校林業科3年の松本祐輔さん（花岡西）は、「高校で学んでいることや木のことに気づいて尋ねられました。頭が真っ白になりましたが県木のクスノキのことなどを答えることができました」とほっとした様子で話してくれました。

# 芦北町の 子育て支援



子どもは自分一人では育つことができません。両親をはじめ、多くの人の手助けを受けながら成長していきます。  
町では安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいます。ここでは町が行う子育て支援の主なものを紹介します。

## ①生まれてくる日のために

### 新米。パパママ教室

初めて妊娠した人にとって、出産はとても不安なものです。妊娠中の過ごし方や食事のこと、赤ちゃんを迎えるための準備などについて、初めての出産を迎える夫婦に保健師・栄養士が丁寧に説明します。

- ◆対象者 初めて出産を迎える夫婦
- ◆時期 母子健康手帳を交付する時や「まだだより」でご案内します。
- ◆内容 妊娠出産の経過、妊娠中の過ごし方、妊婦疑似体験（父親）、沐浴実習、先輩お母さん・赤ちゃんとのふれあいなど



▲沐浴実習で赤ちゃんの人形を使い体験する夫婦

## ②子育ての負担を軽減

子育ては、子どもが大人になるまで続きますが、特に小学校に入学するまでは、子どもの身の回りの世話が必要で、両親にかかる負担も大きい時期です。育児への不安や疲れなどからストレスを感じる人も多いと言われています。

町では子育て支援センターなど、育児の相談・子育て仲間づくりの場を設けていますので、気軽にご利用ください。

### 子育て支援センター

子育てについての不安・悩みなどの相談や、親子で気軽に集い、楽しく遊べる場、交流や情報交換をする場を提供しています。

- ◆利用時間 月曜日～金曜日（祝日・年末年始は除く）  
午前9時30分～正午、午後2時45分～5時15分
- ◆利用料金 無料
- ◆場所 田浦保育所
- ◆対象者 就学前の子どもとその保護者
- ◆利用日 月曜日～金曜日（祝日・年末年始は除く）
- ◆利用時間 午前9時30分～正午、午後2時45分～5時15分
- ◆利用料金 無料
- ◆場所 田浦保育所

## ③子どもの病気やケガに備えて

### 子ども医療費助成事業

子どもを持つ親にとって、子どもの病気やケガは日常生活の中でも、最も気掛かりなものではないでしょうか。

芦北町では、子どもが病気やケガで病院や薬局を利用したときの医療費（健康保険適用分）の一部負担金が満18歳まで無料です。経済的負担を心配することなく病院に行くことができます。

◆対象者 芦北町に住所がある子ども（年齢が満18歳になって最初の3月31日まで）※子どもが修学や施設入所のため町外に転出していても、子どもを扶養する人の住民票が町内にある場合は助成対象になります。

## 学童保育事業

仕事などにより、保護者が昼間家庭にいない小学校低学年の児童に適切な遊び場を提供します。

- ◆対象者 保護者が昼間家庭にいない小学生（おおむね10歳まで）
- ◆利用日・時間・料金  
○学校登校日（月～金曜日）  
時間：学校終了後～午後6時  
料金（1カ月あたり）…4千円（※おやつ代別途2千円）
- 土曜日、長期休暇（夏休みなど）  
時間：午前8時～午後6時  
料金：別途問い合わせください

◆学童保育場所 田浦福祉センター（八幡荘内）  
※淳光育児園、育児園すくすくでも同様の事業を行っています。

## 子育てサークル

### 「デコポンキッズ」

子育て仲間づくりや情報交換の場として、保護者の育児不安やストレス解消の場として利用ください。楽しい子育てサークルを目指しています。

- ◆対象者 未就園の子どもと保護者
- ◆利用日 毎週木曜日
- ◆利用時間 午前10時～正午
- ◆利用料金 無料
- ◆活動場所 保健センター（きずなの里）

### 子育てサークル「デコポンキッズ」

## 一時預かり事業

保護者の急用（仕事・傷病など）により家庭で保育ができなくなったときや、育児疲れを軽減するため、保育所で一時的に子どもを預かる事業です。

- ◆対象者 就学前の健康な乳幼児
- ◆利用日 日曜日、祝日、年末年始を除く毎日
- ◆利用時間 午前8時30分～午後5時15分
- ◆利用料金 児童1人につき  
4時間未満…1千円  
4時間以上…2千円
- ◆実施保育所 田浦、湯浦保育所  
※淳光育児園、芦北保育園でも同様の事業を行っています。



▲子育て支援センターの様子



## ■申込・問い合わせ先

- ◆新米パパママ教室
- ◆子育てサークル「デコポンキッズ」保健センター（きずなの里） ☎（86）0200
- ◆子育て支援センター  
田浦保育所 ☎（87）0034
- ◆一時預かり事業  
田浦保育所 ☎（87）0034  
湯浦保育所 ☎（86）0202  
淳光育児園 ☎（82）3559  
芦北保育園 ☎（82）3044
- ◆学童保育事業  
芦北町役場 福祉課 ☎（82）2511（内線151）  
田浦保育所（子育て支援センター） ☎（87）0034  
芦北町社会福祉協議会田浦支所（田浦荘内） ☎（87）0294  
淳光育児園 ☎（82）3559  
育児園すくすく ☎（82）2214
- ◆子ども医療費助成事業  
芦北町役場 福祉課 ☎（82）2511（内線151）

人と動物が共存できる地域づくりを目指して

## 犬・猫はきちんと飼いましょう

### 犬の登録（生涯1回）と狂犬病予防注射（毎年1回）を必ず実施しましょう

狂犬病は犬にも人にも感染する恐ろしい病気です。あなたの家族、愛犬、地域の人たちの安全を守るため、狂犬病予防注射を必ず受けさせましょう。



### ふん・尿の始末をきちんとしましょう

ふんや尿で散歩コースの公園や砂場、近所の庭や畑が汚されています。



散歩の時はふんの後始末ができるものを持っていき、必ず持ち帰りましょう。尿の場合は、水や消臭剤を持っていくなど、周辺住民の皆さんの暮らしを考えて、適切に処理しましょう。

### 自分の飼っているペット以外にはエサを与えないようにしましょう

自分の飼っているペット以外の動物にエサを与えることは、その動物の飼い主になるということです。

飼い主になるということは、その動物の命や行動のすべてに責任を持つということです。飼い主として最後まで飼うことができますか？



きちんと正しく犬・猫を飼うことは、犬・猫とともにみんなが暮らしやすい環境をつくることにつながります。

中途半端な飼い方は地域の迷惑になるだけでなく、その犬・猫にとっても幸せなことではありません。

あなたが本当に犬・猫がかわいくて、一匹でもかわいそうな犬・猫を減らしたいと思ったら、これらのことを守って、きちんと飼いましょう。

\*問い合わせ先

水俣保健所

☎(63)4104

住民生活課 環境対策係

☎(82)2511(内線147)

### 犬の放し飼いはやめましょう

つながっていない犬は交通事故に遭ったり、犬が苦手な人や近所の人に気付かないうちに迷惑をかけていることもあります。

また、普段はおとなしい犬でも、人にかみ付いてケガをさせてしまうことがあります。

散歩の時や家にいるときも、犬は必ずつないで飼いましょう。



### 猫は室内で飼いましょう

室内で飼うと交通事故や他の猫とのケンカなどのトラブルになりにくいです。また、ふんや尿、イタズラなどで近所への迷惑がなくなります。

猫は元々、活動範囲が狭いため、食事とトイレ、上下運動ができる空間と快適な寝床があり、避妊や去勢手術などで繁殖の欲求をおさえてあげれば室内で飼うことができます。

### 猫は避妊や去勢をしましょう

子猫を産ませて、全ての子猫の里親を探すのはとても大変なことです。引き取り手のない子猫がどんな運命をおくることになるか考えてみましょう。

## 芦北に残る文化遺産

③①

### 田浦阿蘇神社の アラカシ

芦北町指定天然記念物  
昭和54年3月20日指定

11月18日に田浦阿蘇神社の例大祭が行われます。秋の実りを神様に感謝するお祭りです。阿蘇市にある肥後国一宮（地域で最も社格の高い神社）阿蘇神社を総本社として、500を超える末社があるといわれます。田浦阿蘇神社もその一つで、阿蘇の開拓神である健甕龍命をはじめとする12の神様を祭っています。

神社の由緒について、詳しいことは分かっていませんが、中世以来の田浦の豪族檜前氏によって建てられたという伝説もあります。現在の建物は、神殿が天明元（1781）年に、拝殿が嘉永元（1848）年に建立されています。また、芦北地方では珍しく楼門を持つ神社でもあります。

戦前までは「郷社」として田浦地域第一の社格を誇っていました。その後、お祭りの時は奉納相撲や多くの出店で大変にぎわっていたそうです。

さて、今回ご紹介する「田浦阿蘇神社のアラカシ」は、神社の楼門を抜けて右側の川沿いにあります。アラカシ

という木は、漢字で「粗榦」と書きます。日本では本州東北地方より南側の地域、四国、九州に分布する、ブナ科コナラ属の常緑広葉樹です。

このアラカシは、樹齢300年以上と推定され、幹の周囲は3.4mにもなります。幹は根元近くで大きく2本に別れており、根元は空洞となっています。

太い幹を見ると年代を感じることができですが、残念なことに平成16年9月の台風で主幹が地上4mのところまで折れてしまいました。それでも、現在樹高は13m、直径12mくらいの範囲で葉が茂る程度は残っています。

昔は、この木に子どもたちがよく登ったり、根元の空洞でかくれんぼをしたりして、絶好の遊び場だったそうです。また、以前は高さを抑えるために切られたアラカシは競りに出され、町内の大工さんの工具や農具に利用されたこともあったようです。

今度のお祭りの際、ずっと地域を見守ってきたアラカシに目を向けてみると、色んな思い出が浮かび上がるかもしれませんね。

\*問い合わせ先

生涯学習課 文化振興係

☎(87)1171(内線145)

## お知らせ

### 放送大学学生募集

創立30周年を迎えた放送大学では、平成26年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。

放送大学は、テレビやラジオなどの放送やインターネットを利用して自宅や学べる通信制の大学です。働しながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の人が学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文化・自然科学など、幅広い分野を学べます。

資料を無料で差し上げます。お気軽に放送大学熊本学習センターまでお問い合わせください。

▼出願期間

12月1日(日)

～平成26年2月28日(金)

※インターネット出願は11月15日(金)から受付を開始しています。

\*問い合わせ先

放送大学熊本学習センター

☎096(341)0860

### 女性の人権ホットライン

11月18日(月)～24日(日)は「女性の人権ホットライン強化週間」です。次

のとおり電話による相談を受け付けます。

◆11月18日(月)～22日(金)

午前8時30分～午後7時

◆11月23日(土)～24日(日)

午前10時～午後5時

▼相談内容 夫やパートナーからの暴力(DV)、職場などでのセクシュアル・ハラスメントなど女性をめぐるさまざまな人権問題

▼相談担当者 人権擁護委員 法務局職員

\*相談専用ダイヤル

☎0570(070)810

※月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分まで常時相談に応じます。

### ご存じですか 検察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪被害に遭い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。このような人々のために検察官がした処分が正しかったかどうかを審査する機関として「検察審査会」があります。お気軽にご相談ください。費用は無料で、秘密は堅く守られます。

\*問い合わせ先

八代検察審査会事務局

(熊本地方裁判所八代支部内)

☎0965(32)2177

家庭から暴力をなくす  
キャンペーン講演会

■ハートウィークフォーラム  
▼日時 12月6日(金)午後2時  
▼会場 くまもと県民交流館パレア  
10階パレアホール  
▼内容 ダウン症の女流作家・金澤翔子さんによるパフォーマンスと母・泰子さんの講演  
\*問い合わせ先  
熊本県 子ども家庭福祉課  
☎096(333)2229

必ずチェック最低賃金  
時間額664円に改定

最低賃金が10月30日から時間額664円に改定されました。この最低賃金は県内すべての事業所、労働者に適応されます。  
最低賃金の引上げに取り組む中小企業の支援として無料相談窓口を設置しました。  
\*問い合わせ先  
【最低賃金について】  
熊本労働局労働基準部 賃金室  
☎096(355)3202  
【無料相談について】  
☎096(324)1124

時間給を引き上げる  
中小企業を支援

事業場内の最も低い時間給を4年以内に計画的に800円以上に引き上げる中小企業の業務改善を支援します。就業規則の作成、労働能率の増進に役立つ設備・機器の導入、研修などの経費の2分の1(下限5万円、上限100万円)を助成します。  
\*問い合わせ先  
熊本労働局労働基準部 賃金室  
☎096(355)3202

秀岳館高校  
チャリティコンサート

東日本大震災から昨年の九州北部豪雨、また、今年も日本各地で多くの自然災害が発生しています。秀岳館高校では生徒会を中心に復興ボランティア活動を続けています。今年も「芦北・水俣チャリティコンサート」を行います。入場は無料です。  
▼日時 11月20日(木)  
午後6時30分開演  
▼場所 しろやまスカイドーム  
▼内容 雅太鼓演奏、吹奏楽、ステージ発表など  
\*問い合わせ先  
秀岳館高等学校  
☎0965(33)5135

平成26年 成人式

▼日時 平成26年1月12日(日)  
午後1時30分〜受付  
▼場所 しろやまスカイドーム  
▼対象者  
平成5年4月2日〜  
平成6年4月1日生まれの人  
※出席を希望する人で町内に住所がない場合は11月21日(木)までに社会教育センターにご連絡ください。  
\*問い合わせ先  
芦北町社会教育センター  
☎(82)2213

12月1日は世界エイズデー

世界エイズデーにあわせ、水俣保健所で無料・匿名でHIV(ヒト免疫不全ウイルス)検査が受けられます。  
▼検査日時  
11月28日(木) 午前9時〜午後7時  
11月29日(金) 午前9時〜午後5時  
12月5日(木) 午前9時〜午後5時  
(前日までに予約が必要)  
\*予約・問い合わせ先  
水俣保健所 保健予防課  
☎(63)4104

「古石の節目を写そう」  
フォトコンテスト作品募集

古石の季節の変化や行事・出来事など節目を感じさせられる写真を募集します。  
■応募要項  
・A4サイズ以内にプリントしたもの  
・どなたでも、いくつでも応募可  
・デジタル加工(修正)可  
▶募集締切(平成26年)  
[第1節] 1月25日 [第2節] 4月25日  
[第3節] 7月25日 [第4節] 10月25日  
▶賞金・賞品 最優秀賞 5千円+賞品など  
▶提出方法 写真と一緒に必要事項を記入した紙を郵送または持参  
【必要事項】①氏名②年齢③住所④電話番号⑤撮影場所⑥撮影年月日⑦作品名・コメント  
\*提出・問い合わせ先  
〒869-5575 芦北町大字古石391-2  
古石交流館 みどりの里  
☎(86)1835

田浦子育て支援センター 12月の行事

3日(火) お楽しみ会の総練習  
7日(土) お楽しみ会に参加しよう  
9日(月)~13日(金) クリスマス会の準備をしよう  
17日(火) 絵本の読み聞かせ  
24日(火) 身体測定 25日(水)クリスマス会・誕生会  
※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。  
▶センター利用時間 毎週月曜日~金曜日  
午前9時30分~正午 午後2時45分~5時15分  
\*問い合わせ先 田浦子育て支援センター  
☎(87)0034

超小型モビリティ走行実験



熊本県とHONDAは11月から県内各地で走行実験を実施し、来年にも一般の人を対象とした試乗会を実施する予定です。  
芦北町では、しろやまスカイドームを拠点として町内で走行実験を行

地域医療について  
坂本院長と語る

水俣市立総合医療センターでは、9回目の市民懇話会を開催します。これからの地域医療や水俣市立総合医療センターにご意見のある人、過去の懇話会に参加できなかった人、どなたでも参加できます。参加無料。  
▼日時 12月7日(土)  
午後2時から午後4時  
▼基調講話 水俣市立総合医療センター院長ほか、質疑応答など  
▼場所 水俣市立総合医療センター新西館6階大会議室  
\*問い合わせ先  
水俣市立総合医療センター 総務課  
☎(63)2101(内線581)

薩摩街道歴史ふれあいウォーク  
参加者募集

江戸時代から、肥後と薩摩の人・物・文化を結び、豊臣秀吉や天璋院篤姫、西郷隆盛、坂本龍馬などの偉人も通ったという薩摩街道。偉人たちが残した足跡をたどりながら、両地域の歴史や魅力を感じてください。  
▼開催日 12月1日(日)  
▼ウォークコース 全2コース  
▼参加料 2千円  
▼申込期限 11月22日(金)午後5時  
※申込・問い合わせ先  
ディーエムプロジェクト  
☎096(223)8890  
芦北地域振興局 総務振興課  
☎(82)4445

コース	距離(Km)	時間	定員
1コース 佐敷城跡~道の駅たのうら 【難易度:難】 佐敷城跡をスタートし佐敷太郎峠を越える上級トレッキングコースです。	10	2.5時間	60人
2コース 湯浦温泉~つなぎ物産館 【難易度:普通】 ヘルシーパーク芦北をスタートしする比較的緩やかなコースです。 ※西回り自動車道工事のため、昨年までのルートを変更しています。	13	3時間	60人

熊本四街道連絡協議会  
第6回 記念シンポジウム  
in 芦北

薩摩街道の県境を越えて点から線への地域間交流を目指す記念シンポジウムが開催されます。【入場無料】  
◆開催日時 11月30日(土)  
午後1時開会  
午後4時終了予定  
◆場所 芦北町社会教育センター  
◆内容  
【記念講演会】「道を訪ねて」  
講師:薩摩街道保存会  
会長 丸目直樹氏  
【パネルディスカッション】  
「県境をつなぐ薩摩と肥後」  
\*問い合わせ先  
薩摩街道ななうら案内人の会  
事務局長 倉永淳一  
☎(87)2220

事件・事故は110番

芦北警察署 ☎(82)3110



交通事故ゼロの風を吹かせる

「黄色い風車」運動を実施します

私たちがとって交通事故の根絶は切実な願いです。熊本県内で過去2年間に最も交通事故が発生しているのが11月です。また、12月に入ると飲酒の機会も増えます。そこで、熊本県、熊本県警察、各市町村では、尊い人命が交通事故によって失われることがない安全で安心して暮らせる社会の実現を目指し、「世界道路交通犠牲者の日(11月17日)」と「犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)」に合わせて「黄色い風車運動」を実施します。交通事故や事故の被害者を忘れない(風化させない)ための啓発活動として、平成22年～24年に県内で発生した交通死亡事故の現場(高速道を除く)に、運動の統一アイテムとして「黄色い風車」を掲示します。交通事故は誰もが被害者にも加害者にもなる可能性があります。この機会に、交通事故を根絶するために一人一人が何ができるのかを考えてみましょう。



海上・沿岸パトロールを実施しました

9月19日に、県下11沿岸警察署の沿岸警備協会が一堂に海上と沿岸部のパトロールを実施し、不審船や密航者などの発見に努めました。芦北警察署沿岸警備協会(八里政夫会長)も計石港を出発し、町内の海岸一帯のパトロールを行いながら漁船や遊覧船に対して「不審者発見時の通報依頼」などの声掛けを行いました。

火事と救急は119番

芦北消防署 ☎(82)4731



消すまでは心の警報 ONのまま

11月9日から15日までは「秋の全国火災予防運動」の実施期間です。これからは空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季となります。また、冬になるとストーブやファンヒーターなど暖房器具を使う機会が増えてきます。誤った使い方をすると、火災を発生させてしまうおそれがありますので、火災による犠牲者を出さないためにも、使用方法をよく読んで正しく使います。



- ストーブ、ファンヒーター使用時の注意点
- ・石油ストーブや石油ファンヒーターは必ず灯油を使用する。
- ・給油時は必ず消火し、火が消えていることを目で確認して給油する。
- ・スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどを近くに置かない。
- ・洗濯物など燃えやすいものを近くに置かない。
- ・可燃性ガスが発生するもの(ガソリンなど)やスプレーを近くで使用しない。
- ・使用中は1時間に1～2回(1～2分)換気をする。
- ・外出する時や寝る時は必ず消火する。
- ・人目の届かないところでは使わない。
- ・火をつけたまま動かさない。
- ・ごみ、ホコリなどが蓄積しないように週1回の掃除を心掛ける。

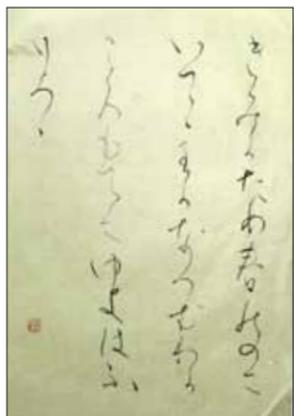
編集後記

恩人とも言える人が先日亡くなりました。近くに身内がないその人は、自らのおみやみの告知を新聞紙面に予約していたらしく、亡くなった翌日に本人名で本人の逝去を告げていました。文面によると、葬儀はせず、お世話になった病院に献体を申し込んだこと。とてもエゴな生活を送っていたあなた、この世にいななくなってもエゴなんですね。とてもあなたらしいですけど。▼頂いた恩はまだ返せていません。こんなことなら、もっと連絡しておけばよかったと今更ながらに思います。もうどうにもできません。お墓もないのでお墓参りさえもできません。▼ここにこんなことを書くのはどうかとも思いましたが、文化講演会で五木寛之さんは「悲しみや苦しみはため息とともに吐き出したほうがいい」と話していました。ため息とともに悲しみを吐き出して、明るい気持ちで感謝したいと思えます。「お世話になりました。ありがとうございます」(上野)

書道(かな)

【町民講座】

「君がため」



一藤 清美

第16回佐敷城観月会

短歌・俳句コンテスト

【入選作品】

【短歌】

火縄銃撃ちて観月始まりぬ城趾にしのお戦国の世よ

村上記美子(菊陽町)

薪能野守の持てる水鏡今宵の月を映して光る

高橋 愛子(合志市)

古城の月夜に浮かぶ薪能

梅田 安子(花岡北)

大塚 宏(田浦町1)

佐敷城跡フォトコンテスト

【一般の部・最優秀賞】



「輝き街道」松田正憲(湯浦南)

【学生の部・最優秀賞】



「眺め」吉村佳子(八代白百合高2年)

お誕生おめでとう

H25.10.1～10.31 受付分(敬称略) 受付件数 11件

氏名	出生日	性別	保護者	区
鎌田 勇人	9.24	男	富士夫	東告
村上 莉音	9.26	女	広光	米田
平松 塔子	9.30	女	大輔	小田浦4
橋本 龍馬	10.3	男	裕	宮浦
平野 葵	10.3	女	俊彦	國見
山口 琳太郎	10.7	男	久雄	湯浦南
平生 陽人	10.8	男	孝幸	平生
宮嶋 海帆	10.16	男	竜治	湯浦南
齋藤 穂実	10.18	女	仁彦	湯浦東
坂本 咲心	10.25	女	皓	花岡東
福永 みのり	10.30	女	仁	湯浦南

※本町窓口へ届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。町外に提出した人で掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H25.10.1～10.31 受付分(敬称略) 受付件数 26件

氏名	死亡日	年齢	区
板床 フサヲ	10.1	88	海浦2
溝口 次男	10.1	85	白岩
中山 ヤエ子	10.3	88	小田浦2
岩間 潤子	10.4	84	宮崎
松村 悦子	10.7	85	大野
中原 シヅモ	10.10	94	湯浦南
川元 勉	10.10	84	田浦3
中原 ヒサ子	10.13	81	大尼田
尾川 フサエ	10.15	98	大川内西
田多良 ただ子	10.15	68	田浦4
福田 ハツメ	10.15	100	田浦町3
岩本 敏	10.17	87	岩屋川内
濱田 貞義	10.17	93	井牟田1
元山 スミ子	10.18	72	小田浦1
大川 マスエ	10.21	93	大川内南
園川 礼子	10.21	49	田浦町1
告畑 佐一郎	10.22	78	東告
濱村 信夫	10.24	79	田浦町3
浦田 ハル	10.25	94	宮崎
常森 忠勝	10.26	79	米田
出野 フジ	10.30	89	八幡

※本町窓口へ届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。

人口のうごき

人口	(H25.11.1 現在)	( )内は前月比
人口	19,179人	(-10)
男	9,004人	(+4)
女	10,175人	(-14)
65歳以上	7,155人	(+3)
世帯数	7,535世帯	(+4)

# 森のびじゅんつ ジビエを食べよう

「ジビエ (gibier)」とはフランス語で狩猟で獲った野生鳥獣の肉のことを言います。ヨーロッパでは貴重な高級食材として扱われてきました。日本でも昔から猟師がイノシシなどを獲って主に自家消費していました。最近では、テレビで紹介されたり、飲食店などでもヘルシー食材として注目されています。

芦北町ではイノシシやニホンジカによる農作物被害に対処するため、芦北町有害鳥獣被害防止対策



▶イノシシ肉の味噌焼きを調理する食生活改善推進委員の皆さん

協議会を設立し、被害防止対策や捕獲活動に取り組んでいます。

捕獲したイノシシの肉を地域資源として活用するための取り組みを熊本県と協力して始めました。その一環として芦北町食生活改善推進員とイノシシ肉料理を考案するための講習会を10月24日にぎずの里で開催しました。

この日は15人の推進員が集まり、家庭で作しやすい料理4品を調理しました。イノシシ肉の味噌焼きでは食べやすいようにスジをハサミで切る工夫もみられました。半数以上の推進員がイノシシ料理をするのは初めてだったようですが、「イノシシ肉は思っていたよりも固くなく、匂いも全く感じずおいしくいただきました」と満足な様子でした。考案されたレシピは広報あしきたで今月号から1品ずつ紹介します。

## ジビエ豆知識

イノシシ肉は脂肪分が多いイメージがありますが、野山を駆け回ったイノシシの肉は豚肉や牛肉と比べ低脂肪・低カロリーです。それだけでなく、良質のタンパク質をはじめ、疲労回復や新陳代謝を促すビタミンB群が豊富に含まれています。

## ジビエレシピ①



**イノシシ肉の味噌焼き**  
味噌のうま味が染み込んだイノシシ肉は、くせが少なく白いご飯にもよく合います。

### 材料 (4~6人分)

- イノシシ肉 ..... 400g
- 味噌 ..... 100g
- ショウガ (すりおろしたもの) ..... 30g
- みりん ..... 30cc
- 濃口しょうゆ ..... 小さじ1
- 酒 ..... 20cc
- かつお顆粒だし ..... 5g
- サラダ油 ..... 大さじ1
- タマネギ ..... 1/2 個
- 葉物野菜 (レタスなど) ..... 好みで適量

### ※冷凍した肉の解凍方法

あらかじめ冷蔵庫に移して数時間おいて解凍を待ちます。急ぐ場合は、ビニール袋に入れ水が入らないように密閉し、ボウルなどにいれて流水で解凍します。

### 作り方

- ①イノシシ肉は柔らかい部分を使い好みの厚さに切る。
- ②味噌、ショウガ、みりん、濃口しょうゆ、酒、かつお顆粒だしを合わせておく。
- ③肉を容器に並べ②をまんべんなく塗り込む。ラップをして冷蔵庫に入れ3~4時間置く。
- ④冷蔵庫から取り出し、フライパンに薄く油をひき、焦げないように弱火で焼く。蓋をして焼くとふっくら焼ける。キッチンハサミなどでスジを切ると食べやすい。
- ⑤タマネギは薄くスライスし、肉を巻いて食べてもおいしい。レタスで巻いてもよい。

## 芦北町立星野富弘美術館だより

「24歳の時、いつものように生徒の前で披露した前方宙返り。次の瞬間から、平凡なことができなくなってしまう」  
私たちが日々生活している中で、見落としがちなる「平凡なこと」を、再発見する展示を行います。新しく美術館へ収蔵された作品も展示します。



▲「ねこじゃらし」1981年

### 「たぐさんの平凡なこと展」

- 期間 平成26年2月9日(日)まで
- 休館日 第2・4月曜日(祝日除く)
- 開館時間 午前9時~午後5時

\*問い合わせ先

星野富弘美術館  
☎ (86) 1600

## 薩摩街道ふるさと海の香ぎやうりー

